

橘町の見どころ

まちの歴史シリーズ ③〇

橘町HP <https://tachibana-net.jp> [歴史・史跡](#) クリック

発行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和6年12月1日
責任者：國平 安治
原稿作：宮下 正博
事務局：橘公民館 22-3884

今月号の案内者は

北檜崎区長 こくひら やすはる 國平 安治さん

こいから たちばなし はなし 橘氏の話
にはいって行くバンタ。

オイたちが住んどー

橘は、先月号にあつ

たゴト、平安時代の末に **長嶋庄**★①と
いう荘園やった。ここバ治めたトが
橘公業さん。

今回は、橘一族が **源頼朝**★②さん
につかえることになった“いきさ
つ”バ、タッパ君、お願いすっバイ。



チワー！はじめまして。
私はミサエ。よろしくネ。

★印番号の解説

★①長嶋庄

さいしよ ながしまのしょう
最初に長嶋庄ってど
こだったかしら？

たちばな とうざいかわのほり たけお あさひ きたがた
今の橘・東西川登・武雄・朝日・北方
あたりにあった注)と言われているよ。
しょうえん 荘園ができる所は、先月号で話たネ

注) 長嶋庄の範囲については諸説あります

★②源頼朝

そうだよ。鎌倉殿の13人
で、大泉洋さんが演じた人。

NHKドラマに
出ていた人？

★③源平合戦時代

へいあんじだい いちばん 平安時代の一番さいごのころ、へいけ げんじ 平家と源氏
がたたかったので、「源平合戦」というけ
ど、正式には「治承寿永の乱」と言うね。

そんな時代って
あるのかな？

★④武士

どうやって武士が
うまれたの？

いろいろな説注)があるけどきまっていないよ。

注) 武士の起源説

- ① 荘園の開発領主が自分の土地を守るために家来に武装させたとする説
 - ② 平将門の乱を鎮圧した者たちに始まるとする説
 - ③ 律令時代の国家軍が軍事貴族に変わったとする説
- ①の説が主流だったが、最近②の考え方も増えている。

まってきました!! **源平合戦時代**★③。
ワクワクするねえ。ミサエちゃん、イ
ンタビューよろしく!

●今NHKでは「光る君へ」の
ドラマがあって、藤原道長
や紫式部が登場しているね。

へいあんじだい 平安時代 (794~1185) と呼ぶんだ。

●道長さんが活躍したころ (西暦千年頃) から
武士★④が力をつけてくるんだ。

●この武士に2つの大きな勢力があって、
平氏と**源氏**と言うよ。

●道長さんの時代から約160年たった1180
年に、**源平合戦**が始まるんだ。

●橘公長・公業親子もこの争いに巻きこま
れていくけど、裏面ではこの時の動きについ
て、ミサエちゃんの疑問に答えていくね。



たちばなきんなり わたし おし
橋 公業さんについて私にも教えて。

1237年(鎌倉時代)、橋にやってきたのが橋公業さん。こんが橋(長嶋庄)を治めた初代の人。

きみながおやこ 公長親子注1)は、げんべいかっせん 源平合戦の時活躍して、『あすまかがみ 吾妻鑑』注2)という本に、何回も登場するよ。

注1) 公長(父) 公忠(兄) 公業(弟)
注2) 鎌倉幕府の正式な記録書

どんなお方だったのかしら？

こ～んな感じのひとかな。

きんなり 公業さんとその兄さんは弓の名手。きみなが 公長さんはお父さん。

へえ～。かっこいい人ね。それで、どんな活躍をしたの？

かっこいいからって、あわてない、あわてない！これからゆっくり説明してあげる。

げんべいかっせん 源平合戦の始まりから説明するヨ。ちす 右の地図が、戦いの経過。

よりとも 頼朝(役:大泉洋)は、いす 伊豆のひるしま 蛭が島と言うところへるけい 流刑になっていたんだ。ボクもそこへ行ってきたけど、ふじさん 富士山がままえみ 真ん前に見えるいいところだった。



よりとも 頼朝(役:大泉洋)は、おごりたかぶるへいけ 平家をたおすため、8月17日にいす(①番)できよへい 拳兵。その場所(守山八幡宮:下写真右)にも行ってきたヨ。



北条政子の産湯井戸



守山八幡宮



よりとも 頼朝は、さいしょ 最初に②番石橋山のたたか 戦いで負けてしまった。④番のまつりこう 真鶴港からほうそう 房総へ逃げ、きたかんと 北関東の武士が集まってくると、10月6日に鎌倉着。

この辺りは「鎌倉殿の13人」を見てね

で、どうして頼朝さんに味方したの？

きみなが 公長(父)さんは、へいけ 平家につかえていたけど、よりとも 頼朝さんがへいけ 平家をたおすためきよへい 拳兵すると、へいけ 平家をみかき 見限ってげんじかた 源氏方になるんだ。

※今回の出典は吾妻鑑です



源頼朝拳兵と公長参陣まで

①拳兵	8,17日
②石橋山の戦い	8,23
③衣笠城の戦い	8,26
④真鶴岬出航	8,28
⑤千葉常胤参陣	9,17
⑥上総広常参陣	9,19
鎌倉着	10,6
⑦富士川の戦い	10,20
⑧橋公長親子参陣	12,19日

頼朝拳兵から公長参陣までの動き

今回ご紹介した時代は『平安時代末期』でした